

東洋陶磁学会 2012年(平成24年)度 事業報告

総会

日時 平成24年5月26日(土)午後1時～

会場 東京藝術大学美術学部中央棟2階第3講義室

特別報告 『世界の陶磁史研究動向』

- ・「中国古陶磁学会「龍泉窯シンポジウム」、台湾・鶯歌陶磁博物館「アジア青磁シンポジウム」、深圳博物館「吉州窯磁器シンポジウム」に関する報告」 森 達也
- ・「揚州唐城出土の陶磁器—唐青花磁器から明代青花磁器まで—」 弓場紀知

大会(参加者:98名)

日時 平成24年11月23日(金)・24日(土)・25日(日)

会場 長崎歴史文化博物館(長崎市立山1丁目1番1号)

テーマ 「長崎の近世陶磁器の新たな調査成果」

日程

11月23日(金・祝)午後1時～

- ・東洋陶磁学会常任委員長挨拶 今井 敦
- ・長崎歴史文化博物館館長挨拶 大堀 哲
- ・記念講演「長崎の近世陶磁の概論」 大橋 康二
- ・研究発表

「長崎の陶磁① 平戸焼」 松尾 秀昭

「長崎の陶磁② ヨーロッパ所在の平戸・三川内焼」 松下 久子

- ・見学

「長崎の陶磁」陶片展示(博物館講座室:会員限定)長崎歴史文化博物館特別展「中国福建博物院展」

11月24日(土)午前9時～

- ・研究発表

「長崎の陶磁③ 現川焼」 扇浦 正義

「長崎の陶磁④ 波佐見焼」 中野 雄二

「長崎の陶磁⑤ 長与焼」 中村 幸

「長崎の陶磁⑥ 亀山焼」 山口美由紀

「長崎を通じた海外輸出① 出島の調査」 山口美由紀

「長崎を通じた海外輸出② オランダ東インド会社の公式貿易」 櫻庭 美咲

「長崎を通じた海外輸出③ 欧州に輸出された肥前磁器の漆装飾について」 松下 久子

「長崎を通じた海外輸出④ 欧州に輸出された古伊万里」 藤原 友子

・見学

出島 旧石倉(考古館)・カピタン部屋

11月25日(日)

・見学会

波佐見町陶芸の館見学→九州陶磁文化館(特別展「将軍家献上の鍋島・平戸・唐津」開催中)→有田駅

研究会

6月30日(土) 1:30 pm 九州国立博物館 1F 研修室(22名)

共催:九州国立博物館

渡辺芳郎(鹿児島大学) 「島津斉彬の薩摩焼輸出について」

遠藤啓介(九州国立博物館) 「白磁経筒に関する一考察—九州国立博物館蔵品をめぐって—」

藤原友子(佐賀県教育庁) 「西洋絵画に見られる東洋陶磁—肥前磁器を中心として—」

酒井田(古橋)千明(九州国立博物館) 「欧州に伝世する清朝康熙年間の磁器について—五彩・青花磁器を中心に—」

*研究会終了後、希望者に九州国立博物館で開催中の「中国陶磁名品選 横河民輔コレクション」の見学会

7月21日(土) 1:30 pm 東京藝術大学美術学部 中央棟2階 第3講義(19名)

福永 愛(学習院大学) 「フランス・ブリンクリーによる日本陶磁研究」

浅沼桂子(青山学院大学) 「遼磁の陶磁史研究」

12月15日(土) 1:30 pm 東京藝術大学美術学部 中央棟2階 第3講義室(27名)

外館和子(愛知県立芸術大学・東北芸術工科大学)

「重要無形文化財<備前焼>保持者・伊勢崎淳の現代性」

長久智子(愛知県陶磁資料館) 「北欧のやきもの:1950-70年代—スウェーデン、フィンランドと日本—」

高田瑠美(菊池寛実記念 智美術館) 「近代日本における作陶家についての考察—新しい古陶磁と制作、小森忍と河井寛次郎を中心に—」

2013年

3月23日(土) 1:30 pm さいたま市大宮盆栽美術館(23名)

依田 徹(東洋陶磁学会会員) 「盆栽鉢の歴史—さいたま市大宮盆栽美術館所蔵品を中心に—」

*研究会終了後、さいたま市大宮盆栽美術館の見学会を行います。

学会誌

第42号:平成25年3月31日発行「東洋陶磁研究の100年を振り返る」(第39回大会発表を中心に)

会報

第 77 号:平成 24 年 9 月 12 日 発行(考古編) 第 78 号:平成 25 年 2 月 20 日 発行(総会記念講演編)

常任委員会

第 1 回:平成 24 年 4 月 21 日 於出光美術館 第 2 回:平成 24 年 5 月 26 日 於東京藝術大学 第 3 回:
平成 24 年 11 月 23 日 於長崎歴史文化博物館 第 4 回:平成 25 年 2 月 24 日 於出光美術館

編集委員会: メールで

学会改革:

事務所の移転、学会誌の装丁・判形・印刷所の変更 会員拡充:新入会員 23 名(退会者 38 名、住所不明者 4 名) その他:学会誌バックナンバー配布